

資料 1

生涯学習基本計画の進行管理について

～ともに生き、ともに学び、ともに支え合う～

夢まなびと創造プラン

平成29年2月14日



1 地域づくり、地域の復興につながる生涯学習の推進

<施策の方向>

- (1) 地域の課題に対応できる人材の育成
- (2) 学習成果を生かすための仕組みづくり
- (3) 地域活動への参加促進

平成28年度の主な取組

◆ 「ジャーナリストスクール開催事業」(生涯学習課)【4,278千円】

未来を担う子どもたちが、ふるさと「ふくしま」において、復旧・復興に取り組む個人や団体また、文化、スポーツ等の分野で活躍している団体に対し、これまでの努力や成果、今後の夢や目標等について取材をする。これをもとに、子どもたちが自ら考え、自分の思いや取材した内容を新聞記者等の指導を受けながら、新聞にまとめ、発信することにより、自分たちの住む「ふくしま」の良さを知るとともに、自分の将来の夢や希望を深く考えさせる機会とする。

平成28年度 実績

- 開催日 平成28年8月6日～8日(2泊3日)
- 場所 郡山自然の家(活動・宿泊)、ビッグバレットふくしま(新聞発表会)
- 特別講師 ジャーナリスト・池上 彰 氏
- 講師 福島民報社及び福島民友新聞社等の協力
- 参加者 小学生14名、中学生8名、高校生3名 合計25名
- 取材先 1班 みよこじスイーツゆい 2班 ペップキッズこおりやま
3班 福島ガイナックス 4班 あさか野窯
5班 ファイヤーボンズ 6班 車椅子バスケットボール チームアース

◆ 県民カレッジ推進事業(生涯学習課)【0千円】

県民の多様な学習ニーズや学習活動の広域化に対応していくため、県・市町村・大学等高等教育機関、民間教育機関等が連携・協力し、県民が主体的、継続的に学習活動に取り組めるよう、生涯学習に関する情報や学習機会を提供する。

平成27年度 実績

県民カレッジ連携講座(受講生の対象地域を1市町村に限定しないで、他市町村の住民も参加できる講座)を県HPや「夢まな情報BOX」(ヨークベニマル等)にて情報提供。

- 講座数 245講座
- 参加者数 107,380人

◆ **子どもがふみだす Fukushima復興体験応援事業 (社会教育課) 【60,615千円】**

本県の子どもたちは様々な機会に県内外にふくしまの今を伝える活動を行うなど、復興に貢献しようという想いを高めている。

その想いを具現化できる機会を提供することで新たなステージに進み、子どもたちが主体的に寄与する社会体験活動に取り組むことを通して、新生ふくしまを担うたくましい子どもたちの育成を図る。

平成28年度 実績

- 採択団体 38団体
- 参加者 延べ約1,100人

◆ **体験活動・ボランティア推進センター事業 (社会教育課) 【0千円】**

青少年の社会性や思いやりの心など豊かな人間性を育むため、学校内外を通じた体験活動やボランティア活動の機会の充実を図ることを目的に情報提供やコーディネート等を行う推進センターを県に設置し、市町村並びに市町村センターにおける体験活動・ボランティア活動の推進体制を支援する。

平成27年度 実績

- 学校・社会教育施設で受け入れたボランティア延べ人数 120,584人

◆ **ふるさと・きずな維持・再生支援事業 (文化振興課) 【112,150千円】**

東日本大震災及びそれに引き続く原子力災害からの本県の復興等に向け復興支援や被災者支援等を行うNPO法人等による取組を支援することにより、高い運営力を有するNPO法人等を育成し、復興や被災者の支援の促進を通して、本県のきずなの維持・再生を図る。

(事業の主な要件)

NPO法人等の運営力強化に資する地域のモデルとなる先駆的な取組であり、次のいずれかのもの。

- ① NPO法人等の人材育成に資する取組
- ② NPO法人等のネットワーク形成に資する取組

平成28年度 実績

- 補助対象者 23団体

指標の進捗状況

指標名	計画策定時の現況値	実績値	目標値（32年度）
住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していると回答した県民の割合	H24年度 15.2%	H28年度 20.0%	上昇をめざす
NPO法人認証件数	H23年度 累計 631 件	H27年度 累計 875 件	累計 1,055 件以上

平成29年度の取組予定

○継続事業

- ・ジャーナリストスクール開催事業（生涯学習課）【4,295千円】
- ・県民カレッジ推進事業（生涯学習課）【0千円】
- ・子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業（社会教育課）【161,045千円】
- ・体験活動・ボランティア推進センター事業（社会教育課）【0千円】
- ・ふるさと・きずな維持・再生支援事業（文化振興課）【114,422千円】

2 社会の変化に対応できる「生きる力」の形成

＜施策の方向＞

- (1) 学校・家庭・地域が一体となった子どもたちをはぐくむ取組の推進
- (2) 社会的自立を支援する学習活動の充実
- (3) 職業能力の向上と就労支援の推進

平成28年度の主な取組

◆ 子どもの学習支援による地域再生事業（社会教育課）

(1) 放課後子ども教室推進事業 【157,197千円】

子どもの健全育成と安心して子育てできる地域社会の実現のため、放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進する「放課後子ども教室推進事業」（教育委員会）と「放課後児童健全育成事業」（保健福祉部）との連携により、総合的な放課後対策事業として実施。

【放課後子ども教室推進事業】

地域住民の参画を得て、放課後の小学生が安全で安心して活動できる拠点づくりを進めることにより、子どもの健全育成と安心して子育てができる社会の実現を図る。

平成28年度 実績

- 実施箇所 117教室 （37市町村114箇所、県立特別支援学校3箇所）
- 地区別研修会 県内6箇所 （総参加者数 469人）

(2) 学校支援地域本部事業 【49,822千円】

地域人材や団体などの参画を得て、学校と地域が連携し、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する。その中で、様々な体験・交流・学習活動等を行い、子どもたちの社会性や創造性等豊かな人間性を涵養するとともに、地域の子どもたちと大人の積極的な参加・交流による地域コミュニティの充実と地域社会全体の教育力の向上を図る。

平成28年度 実績

- 22市町村46本部で、193校・園を対象に実施。（中核市を除く）

◆ 学校・家庭・地域連携サポート事業（社会教育課）【1,260千円】

学校・家庭・地域が連携協力し、地域全体で子どもを育む体制づくりと、震災後の環境の変化に対応した支援のために、「学校支援実践研修会」及び「放課後子ども教室研修会」を実施し、教育環境の復興に資する。

平成28年 実績

(1) 学校支援実践研修会

本庁1回、6教育事務所各1回 計7回実施 参加者延べ296人

(2) 放課後子ども教室研修会

6教育事務所 計8回実施 参加者延べ469人

- ◆ ふくしまから はじめよう。「地域のたから」民俗芸能承継事業（文化振興課）【18,763千円】
存続の危機にある民俗芸能の継承・発展のため、公演の機会を提供するとともに、民俗芸能団体の実情に応じた総合的な支援を行う。

平成28年度 実績

- (1) 「民俗芸能復興サポート事業」
専門家の派遣により活動再開から継続、担い手の育成まで、各団体の実情に応じた総合的、一体的な支援を行う。(地区説明会7回開催等)
- (2) 「民俗芸能承継公演事業（ふるさとの祭り）」
 - 開催時期 平成28年11月5日(土)～11月6日(日)
 - 開催場所 白河市立図書館 特設会場
 - 開催内容 ① ふるさとの祭り(ステージ公演、伝統芸能体験、伝統工芸創作等)
② 代表者交流会(出演団体による意見交換会)

- ◆ 地域でつながる家庭教育応援事業（社会教育課）【3,648千円】

本県の家庭教育推進上の大きな課題である「親の学び」を支援するために、PTAと連携し、家庭教育について親自身が学ぶ機会が充実するよう支援する。

また、各地域で主体的に家庭教育の支援が行えるよう学習プログラムを作成し、活用を呼びかけるとともに、家庭教育支援者をリードする人材を育成する。

さらに、企業と連携し、地域の家庭教育推進を働きかけ、実施に向けた支援を行う。

平成28年 実績

- (1) 家庭教育応援プロジェクト
 - ①福島県地域家庭教育推進協議会 2回(5月、2月)開催
 - ②各地区地域家庭教育推進ブロック会議 2回(6月、11～2月)開催
 - ③親子の学び応援講座 県内25講座開催
 - ④家庭教育応援企業 118企業認定(累計で311企業)
- (2) 家庭教育応援リーダー養成事業
 - ①家庭教育支援者全県研修 7月2日(土)開催 106人参加
 - ②親育ち応援学習プログラムを県内小学校新入学児童保護者に配付

- ◆ ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト（社会教育課）【7,877千円】

福島県全体の読書活動について検討する場や高校生の情報発信能力を県内外に発信する場、幼児期の読書の大切さを広報する場を設定することにより、より良い読書環境づくりを進めていく。また、各地域で活躍できる読書活動支援者を育成したり、資質向上を図り、自立的・自発的に活動ができるようにするための支援をする。

平成28年度 実績

- (1) 読書活動支援者育成研修受講者 820人
- (2) 子どもの読書活動推進ネットワークフォーラム参加者 142人
- (3) 高校生によるビブリオバトル福島県大会 参加者 15人 観戦者 120人
- (4) 子どもの本がつなぐスマイルプロジェクト 参加者 157人

◆ 次世代のふくしまを担う人材育成事業（高校教育課）【705千円】

・インターンシップによるキャリア教育推進事業

計画的・体験的なキャリア教育の一環として、インターンシップ実施環境の整備を行う。

- 受入企業との事前打合せや巡回指導等のための教員旅費の支給
- 対象生徒 1～3年生
- 受入企業 各学校が選定し、受入の依頼を行う。

平成27年度 実績

県立高等学校全日制・定時制での実施率63.2%

◆ 消費生活出前講座事業（消費生活課）【607千円】

悪質商法の対策等に係る研修会を開催することにより、消費者被害を未然に防止し、消費者の理解を深め、自立した消費者の育成を図る。

平成28年度 実績

- 出前講座 21回（12月末現在）

◆ 離職者等再就職訓練事業（産業人材育成課）【408,429千円】

離職者等求職者の早期就職を支援するため、公共職業安定所から受講あっせん又は支援指示を受けた者に対し、介護分野など多様な職業訓練を委託して実施する。国の委託事業。

平成27年度 実績

- 受講者 1,490人
- 修了者 1,199人
- 就職率 76.3%

指標の進捗状況

指標名	計画策定時の現況値	実績値	目標値（32年度）
インターンシップ実施校の割合（県立高等学校全日制・定時制課程）	H23年度 63.2% （参考：H22年度 74.2%）	H27年度 63.2%	80.0%以上
地域伝統芸能交流会参加児童生徒数 （ふるさとの祭り参加児童数）	H24年度 40人	H28年度 12人 （累計154人）	延べ360人以上

平成29年度の取組予定

○ 継続事業

- ・ふくしまから はじめよう 「地域のたから」 民俗芸能承継事業
（文化振興課）【19,107千円】
- ・地域でつながる家庭教育応援事業（社会教育課）【4,940千円】
- ・ふくしまの未来をひらく読書のカ プロジェクト（社会教育課）【7,935千円】
- ・次世代のふくしまを担う人材育成事業（高校教育課）【1,026千円】
（インターンシップによるキャリア教育推進事業）
- ・消費生活出前講座事業（消費生活課）【607千円】
- ・離職者等再就職訓練事業（産業人材育成課）【413,413千円】

○ 組み替え事業

- （新）地域学校協働本部事業（社会教育課）
- （1）放課後子ども教室事業【120,445千円】
 - （2）学校支援活動事業【29,144千円】
 - （3）学校・家庭・地域連携サポート事業
【2,382千円】

平成28年度

- ・子どもの学習支援による地域再生事業
- （1）放課後子ども教室事業
- （2）学校支援地域本部事業
- ・学校・家庭・地域連携サポート事業

3 生涯学習における学習活動の評価と活用機会の確保

<施策の方向>

- (1) 学習成果の職業キャリア形成への活用の推進
- (2) 学習成果の発表と活用の場の提供
- (3) 表彰制度等の創設

平成28年度の主な取組

◆ ジョブ・カードの普及・啓発（産業人材育成課）【0千円】

委託訓練受講者へのジョブ・カードの交付及び普及啓発を行う。

平成27年度 実績

- ジョブ・カード交付件数・委託訓練1,971件（うち再交付 788件）
- 学卒訓練 177件（うち再交付 67件）

◆ 声楽アンサンブルコンテスト全国大会（文化振興課）【16,234千円】

音楽を創りあげるもっとも基礎となる要素「アンサンブル」に焦点を当て、全国からトップレベルの声楽アンサンブルグループが福島に集い、合唱レベルの向上を図るとともに、音楽文化の振興発展に寄与する。

平成27年度 実績

第9回声楽アンサンブルコンテスト全国大会2016

- 期間 平成28年3月18日（金）～平成28年3月21日（月）
- 場所 福島市音楽堂
- 部門 中学校、高等学校、一般、本選
- 出演団体
中学校部門41団体、高校部門43団体、一般部門42団体
※海外団体 2団体（インドネシア共和国、フィリピン共和国） 合計126団体
- 出演者1,868人
- 来場者5,300人

◆ 福島県芸術祭（文化振興課）【0千円】

県民による文化公演発表等の促進、県民への芸術鑑賞機会の提供及び芸術文化団体等の活動促進を目的として開催し、芸術文化の振興を図る。

平成28年度 実績

第55回大会 会津地区を重点地区として開催

- 開幕式典 平成28年9月4日（日）
- 場所 喜多方プラザ文化センター
- メインテーマ 飯豊の峰に響け！文化の祭典
- 行事数
主催行事26事業
参加行事74事業

◆ 県展開催事業（文化振興課）【16,377千円】

県内在住者及び県出身者から美術作品を公募し、一般に展覧することにより、本県美術の振興を図るとともに、優れた美術作品の鑑賞機会の拡充を図る。

平成28年度 実績

第70回展

- 期間 平成28年6月17日（金）～6月26日（日）
- 場所 とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）
- 出品点数 5部門 885点（うち公募702点）
- 展示点数 706点（うち公募523点）

◆ 文学賞実施事業（文化振興課）【3,592千円】

県民から文学作品を公募し、成果発表の場を提供するとともに、優秀作品を顕彰することにより、本県文学の振興及び文化の進展を図る。

平成28年度 実績

第69回文学賞

- 開催日 平成28年11月3日（木）
- 場 所 杉妻会館
- 受賞者 22名
- 部門 小説、ドラマ、エッセー、ノンフィクション、詩、短歌、俳句
- 応募総数 309点（うち青少年120点）
- 審査対象作品数 208点

指標の進捗状況

指標名	計画策定時の現況値	実績値	目標値（32年度）
生涯学習指導者登録数	H23年度 757人	H27年度 1,177人	850人以上
福島県芸術祭参加行事数	H23年度 47行事	H28年度 100行事	87行事以上

平成29年度の取組予定

- 継続事業
 - ・ジョブ・カードの普及・啓発（産業人材育成課）【0千円】
 - ・声楽アンサンブルコンテスト全国大会（文化振興課）【16,180千円】
 - ・福島県芸術祭（文化振興課）【0千円】
 - ・県展開催事業（文化振興課）【15,908千円】
 - ・文学賞実施事業（文化振興課）【4,001千円】

4 学びやすい環境づくりの推進

<施策の方向>

- (1) 生涯学習の普及啓発
- (2) 学習機会の提供
- (3) 学習情報の提供
- (4) 関係機関等との連携・強化

平成28年度の主な取組

◆ ニュースレター (生涯学習課) 【0千円】

平成27年度で終了した「全国ネットワークフォーラム」の目的である「生涯学習を通じた地域づくり、社会づくり」の理念を後継する事業として生涯学習に関する情報をまとめた「ニュースレター」を年2回作成し、本課ホームページに掲載するとともに各市町教育委員会や他関係機関等に情報を発信していく。

平成28年度 実績

- 第1号 平成28年12月発行
- 第2号 平成29年 2月発行予定

◆ 県民カレッジ推進事業 (生涯学習課) 【再掲】

◆ 県立美術館 (社会教育課)

・企画展開催経費 【51,379千円】

企画展を開催し、県民の観覧に供する。

平成28年度 実績

- (1) 「フェルメールとレンブラント：17世紀オランダ黄金時代の巨匠たち」
4月6日(水)～5月8日(日)
- (2) 「飯館村山津見神社天井画 復元模写プロジェクト展示」
5月28日(土)～7月3日(日)
- (3) 「エドワード・ゴッリーの世界」展
7月16日(土)～8月28日(日)
- (4) 「被災地からの発信・ふくしま3.11以降を描く」展
9月10日(土)～10月10日(月)
- (5) 「浮世絵 美の色彩展」
10月29日(土)～12月4日(日)
- (6) 「シリーズ Gallery F2016 コレクション再発見」
平成29年1月21日～3月20日(月・祝)

◆ 県立博物館 (社会教育課)

(1) 博物館施設設備事業 【167,846千円】

博物館施設の機能維持にあたり、施設・設備の修繕を行う。

(2) 企画展開催経費 【11,226千円】

特別展として、企画による展示を開催し、県民の観覧に供する。

平成28年度 実績

- (1) 大須賀清光展
4月23日(土)～6月12日(日)
- (2) 夏の特集展
7月16日(土)～8月21日(日)

- (3) 文化庁購入文化財展
9月3日(土)～9月30日(金)
- (4) みんなの県立博物館展
10月15日(土)～11月23日(水)

◆ 福島県文化センター (文化振興課)

(1) 文化センターの管理運営【254, 123千円】

福島県文化センターは、美術、音楽、芸能等、芸術文化の拠点となる施設であり、様々な文化活動の振興、学習の機会を提供する。

(2) 文化センター利用料金免除補助事業【13, 640千円】

学校行事における文化的活動や部活動、県主催事業等の利用料金免除について、運営にあたる指定管理者に対して補助する。

(3) 文化センター施設設備【500, 706千円】

福島文化センターを安全、安心して使用できるよう施設・設備の整備を行う。

(4) 福島県文化センター自動体外式除細動器整備事業【23千円】

文化センターに自動体外式除細動器(AED)を配置する。

◆ ふくしま海洋科学館 (生涯学習課)

(1) ふくしま海洋科学館の管理運営【380, 096千円】

ふくしま海洋科学館において、より多くの人々に広く海に関する学習の機会及び余暇活動の場を提供することにより、自然環境に関する理解の向上及び生涯学習の振興を図る。

(2) ふくしま海洋科学館利用料金免除補助事業【25, 685千円】

学校教育に基づく活動、福島県内の市町村の機関が主催する講習会等の利用料金免除について、運営にあたる指定管理者に対して補助する。

(3) ふくしま海洋科学館施設修繕事業【96, 288千円】

ふくしま海洋科学館を運営・維持していく上で必要となる工事等を行う。

◆ 文化財センター白河館 (文化財課)【246, 180千円】

白河館の管理運営

福島県教育委員会が発掘調査した遺跡で出土した遺物や記録写真、図面などの資料を収蔵・保管し、展示・体験学習等に活用する。

指標の進捗状況

指標名	計画策定時の現況値	実績値	目標値 (32年度)
県民カレッジ受講者数	H23年度 54,532人	H27年度 107,380人	65,000人
「夢まなびと」 アクセス数	H23年度 107,158件	H27年度 228,426件	134,000件
入館者数			
・県立美術館	H23年度 103,960人 (参考:H22年度 140,232人)	H27年度 8,727人	120,000人
・県立博物館	H23年度 82,414人 (参考:H22年度 95,556人)	H27年度 66,509人	100,000人
・福島県文化センター	H23年度 62,929人 (参考:H22年度 314,413人)	H27年度 368,552人	345,800人
・アクアマリンふくしま	H23年度 258,244人 (参考:H22年度 861,326人)	H27年度 558,630人	900,000人
・文化財センター白河館	H23年度 22,528人 (参考:H22年度 28,231人)	H27年度 27,227人	30,000人

平成29年度の取組予定

○ 継続事業

- ・ニューズレター (生涯学習課) 【0千円】
- ・県民カレッジ推進事業 (生涯学習課) 【0千円】
- 〔県立美術館〕 (社会教育課)
- ・企画展開催経費 【52,433千円】
- 〔県立博物館〕 (社会教育課)
- ・博物館施設整備事業【519,072千円】
- ・企画展開催経費【14,240千円】
- 〔福島県文化センター〕 (文化振興課)
- ・文化センターの管理運営【257,430千円】
- ・文化センター利用料金免除補助事業【13,640円】
- ・文化センター施設設備【389,133千円】
- ・福島県文化センター自動体外式除細動器整備事業【22千円】
- 〔ふくしま海洋科学館〕 (生涯学習課)
- ・ふくしま海洋科学館の管理運営【382,804千円】
- ・ふくしま海洋科学館利用料金免除補助事業【25,685千円】
- ・ふくしま海洋科学館施設修繕事業【245,896千円】
- 〔文化財センター白河館〕 (文化財課)
- ・白河館の管理運営【250,988千円】

○ 新規事業

- 〔県立美術館〕 (社会教育課)
- ・県立美術館施設設備事業【11,686千円】
- 〔アーカイブ拠点施設〕
- ・アーカイブ拠点施設整備事業(生涯学習課)【245,000千円】

5 調査・研究及び人材育成等

<施策の方向>

- (1) 調査・研究
- (2) 人材育成
- (3) 東日本大震災等の体験、記憶、記録、教訓の継承

平成28年度の主な取組

◆ 公民館主事等の研修の充実（社会教育課）【176千円】

(1) 公民館職員研修会（初任者研修会）

公民館職員としての基礎的な知識や社会教育関係事業の企画・立案・実施に向けての技能等を拾得し、公民館職員の資質の向上を図るため、社会教育法第6条の2、第9条の6、第28条の2により研修を行う。

平成28年度 実績

- 初任者研修参加者 38人

(2) 福島県市町村社会教育担当者研修会（経験者研修）

社会教育事業推進のため、個人や社会の要請に対応した今日的課題についての専門的知識や技能習得の研修を行い、社会教育行政担当者としての資質向上を図る。また、それぞれの市町村で活動するボランティア実践者や地域コーディネーターの研修の場とし、地域の人材育成を図る。

平成28年度 実績

- 経験者研修参加者 48人

◆ アーカイブ拠点施設関連事業（生涯学習課）【26,568千円】

アーカイブ拠点施設の整備については、当該施設が国のイノベーション・コースト構想に位置づけられ検討されるなど、実現に向け一定の前進が見られることから、さらにその確実な実現に向け、引き続き推進活動を進める。また、その現実を見据え、震災資料の収集・分類等を実施するとともに、収集済み資料の有効活用を図り、震災の体験、記録、教訓を継承する。

平成28年度 実績

(1) アーカイブ拠点施設の整備に向け、昨年度まとめた有識者会議報告書を具現化するため、「東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設基本構想」を策定予定。

- ① 県内有識者検討会議 4回 開催
- ② 「ふくしまの記憶と記録、未来に伝えるシンポジウム」 開催
8月20日（土） 環境創造センター
・内堀知事、なすび氏との対談
・パネルディスカッション

③ 市町村へのアンケート、意見交換会の実施

(2) 収集資料の活用として、東日本大震災資料展示展（平成29年3月実施予定）

- ① 会津若松市「末廣酒造嘉永蔵」
- ② 福島県立図書館

◆ 東日本大震災福島県復興ライブラリー整備事業 (社会教育課) 【8, 286千円】

東日本大震災に関連する資料等を収集・保存し、広く県民に情報を提供するとともに、移動図書館車の巡回により資料の貸出を行う。

平成27年度 実績

- | | |
|--------------------|---|
| (1) 震災及び原発事故関連資料収集 | 資料収集件数：9, 457件 |
| (2) 避難自治体支援 | 移動図書館 (あづま号) による資料貸出稼働21回、貸出3, 585冊 (開催場所 飯舘村、楢葉町他) |

平成29年度取組予定

- 継続事業
 - ・公民館主事等の研修の充実 (社会教育課) 【176千円】
 - ・東日本大震災福島県復興ライブラリー整備事業 (社会教育課) 【8, 286千円】
- 新規事業
 - ・アーカイブ拠点施設設置準備事業 (生涯学習課) 【108, 234千円】